



2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月8日

上場会社名 カネソウ株式会社

上場取引所 名

コード番号 5979 URL <http://www.kaneso.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 健治

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 南川 智之

TEL 059-377-4747

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月26日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	7,614	4.1	569	66.7	526	71.1	353	77.2
2019年3月期	7,315	1.4	341	30.2	307	35.4	199	38.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	248.57		2.6	3.3	7.5
2019年3月期	140.26		1.5	2.0	4.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	15,919	13,782	86.6	9,680.67
2019年3月期	15,701	13,650	86.9	9,588.30

(参考) 自己資本 2020年3月期 13,782百万円 2019年3月期 13,650百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	619	183	213	689
2019年3月期	594	354	213	467

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当 率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		75.00		75.00	150.00	213	106.9	1.6
2020年3月期		75.00		75.00	150.00	213	60.4	1.6
2021年3月期(予想)		75.00		75.00	150.00		80.6	

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,560	3.2	100	22.3	80	28.0	45	24.1	31.60
通期	7,600	0.2	440	22.8	400	24.0	265	25.1	186.13

注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	1,440,000 株	2019年3月期	1,440,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	16,290 株	2019年3月期	16,290 株
期中平均株式数	2020年3月期	1,423,710 株	2019年3月期	1,423,710 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信(添付資料)2ページをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	7
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期における国内経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移してまいりました。しかしながら、消費増税や多発した自然災害の後も、通商問題が長期化するなど海外情勢が不安定な中で、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界経済全体に与える影響が大きくなる状況となり、先行きは不透明感の強い状況で推移致しました。当社の主要な市場における建設関連業界におきましては、設備投資が慎重になるものの、期中におきましては、都市部を中心とした再開発などによる建設需要は、底堅く推移致しました。一方で、材料価格や物流費用をはじめとするコスト環境は高い水準が続き、慢性的な労働者の不足感も解消されない状況から、取り巻く事業環境は厳しい状況が続きました。こうした状況のもと、市場における需要獲得や収益の改善に向けて、取り組みを進めてまいりました。その結果、売上高は76億14百万円（前年同期比4.1%増）となりました。製品分類別における状況は、次のとおりとなりました。

鋳鉄器材は、建築工事関連が低調なことから、雨水排水・防水関連製品は、やや低位な状況が続きましたが、外構、街路関連工事の改善から、外構・街路関連製品が増加し、19億47百万円（同2.0%増）となりました。

スチール機材は、設備、土木工事関連の納入が低位な状況が続きましたことから、外構・街路関連製品など全般に減少し、12億44百万円（同4.5%減）となりました。

製作金物は、建築工事が低調な状況が続き、建築金物は減少しましたが、外構、街路等景観整備工事が堅調であったことから、外構・街路関連製品の増加基調が続きました。また、当期における工事の進捗により防災関連製品の納入が増加し、39億58百万円（同12.1%増）となりました。

その他铸造製品は、公共投資が低調な状況が続き、土木需要が低下したことと、建機、機械向け製品の需要減少が続きましたことが影響し、4億63百万円（同18.9%減）となりました。

利益につきましては、材料価格など調整感はあるものの高値状態が続き、コスト環境は厳しい状況にありましたが、主要製品など、売上の増加にともない、生産における原価改善が進みました。その結果、売上総利益は、26億99百万円（同10.4%増）となりました。販売費及び一般管理費につきましては、運送に係る費用の上昇や、当期における施設の改善に伴う修繕費用の計上など、経費負担の増加はありますが、売上の増加にともない、営業利益は5億69百万円（同66.7%増）となりました。営業外損益につきましては、長期にわたる低金利の環境のもとで、収益の低い状況が続き、改善には至らないものとなりました。その結果、経常利益は5億26百万円（同71.1%増）となり、当期純利益は3億53百万円（同77.2%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産総額は159億19百万円となり、前事業年度末に比べ2億18百万円増加いたしました。これは主に、流動資産のうち、現金及び預金が77百万円減少しましたが、たな卸資産が87百万円、固定資産のうち、機械及び装置が1億72百万円、ソフトウェアが32百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

負債総額は21億37百万円となり、前事業年度末に比べ87百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のうち、買掛金が53百万円、未払法人税等が57百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は137億82百万円となり、前事業年度末に比べ1億31百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当が2億13百万円、その他有価証券評価差額金の減少が8百万円でしたが、当期純利益の計上が3億53百万円となったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は6億89百万円となり、前事業年度末に比べ2億22百万円増加しました

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因につきましては次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、6億19百万円（前期比25百万円の収入増）となりました。

これは主に、売上債権の増加が54百万円、たな卸資産の増加が87百万円、法人税等の支払額が1億19百万円ありましたが、税引前当期純利益の計上が5億26百万円、減価償却費の計上が3億20百万円、仕入債務の増加が53百万円あったこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果支出した資金は、1億83百万円（前期比1億70百万円の支出減）となりました。

これは主に、定期預金の払戻による収入が79億円ありましたが、定期預金の預入による支出が76億円、有形固定資産の取得による支出が4億46百万円あったこと等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果支出した資金は、2億13百万円（前期比0百万円の支出減）となりました。

これは、配当金の支払が2億13百万円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、国内経済が、諸外国の通商問題など、情勢の変化が治まらない中で、急速に感染症が与える悪影響が拡大する状況となり、世界的な景気減速懸念も浮上するなど、先の読みづらい不安定な経営環境が予想されます。こうした中で、国内建設市場につきましては、都市部における再開投資や防災対策などによる需要は続くことが期待されますが、感染症拡大による経済、社会全体への影響から、調整感が強まり、設備投資をはじめ消費など低下することも見込まれます。関連する市場環境が悪化することも予想されますため、受注確保に向けて市場開拓、営業活動など効率を上げ、ニーズに対応した新製品開発や、生産性の向上を進め、収益力を改善し、業績の向上に努めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社の業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,367,232	8,289,824
受取手形	340,896	330,320
電子記録債権	183,629	208,630
売掛金	934,873	975,056
有価証券	1,300,000	1,300,000
製品	492,759	531,375
仕掛品	108,098	118,043
原材料及び貯蔵品	394,922	433,962
前払費用	7,427	9,142
その他	10,353	8,098
貸倒引当金	△14,952	△12,451
流動資産合計	12,125,240	12,192,004
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,060,064	4,089,085
減価償却累計額	△3,467,225	△3,505,397
建物（純額）	592,838	583,687
構築物	410,430	398,114
減価償却累計額	△347,125	△329,522
構築物（純額）	63,304	68,591
機械及び装置	3,848,909	4,187,619
減価償却累計額	△3,219,829	△3,386,442
機械及び装置（純額）	629,080	801,176
車両運搬具	160,069	161,890
減価償却累計額	△126,767	△129,394
車両運搬具（純額）	33,302	32,495
工具、器具及び備品	1,699,224	1,727,683
減価償却累計額	△1,643,214	△1,661,364
工具、器具及び備品（純額）	56,010	66,318
土地	1,732,878	1,732,878
建設仮勘定	67,166	20,790
有形固定資産合計	3,174,581	3,305,938
無形固定資産		
ソフトウェア	7,536	40,446
その他	182	182
無形固定資産合計	7,719	40,629

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
投資その他の資産		
投資有価証券	72,010	61,060
関係会社株式	10,000	10,000
出資金	3,600	3,600
長期前払費用	997	1,520
繰延税金資産	134,807	139,431
その他	184,278	177,755
貸倒引当金	△12,000	△12,000
投資その他の資産合計	393,694	381,367
固定資産合計	3,575,994	3,727,934
資産合計	15,701,235	15,919,938
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,818	310,107
未払金	130,857	127,182
未払費用	49,718	48,239
未払法人税等	111,903	169,396
前受収益	371	360
賞与引当金	57,056	58,308
その他	94,368	70,971
流動負債合計	701,096	784,566
固定負債		
退職給付引当金	300,649	296,945
役員退職慰労引当金	481,785	479,223
その他	566,747	576,735
固定負債合計	1,349,182	1,352,905
負債合計	2,050,279	2,137,471

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,820,000	1,820,000
資本剰余金		
資本準備金	1,320,000	1,320,000
資本剰余金合計	1,320,000	1,320,000
利益剰余金		
利益準備金	275,400	275,400
その他利益剰余金		
別途積立金	9,900,000	9,900,000
繰越利益剰余金	387,047	527,378
利益剰余金合計	10,562,447	10,702,778
自己株式	△69,828	△69,828
株主資本合計	13,632,618	13,772,950
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,338	9,516
評価・換算差額等合計	18,338	9,516
純資産合計	13,650,956	13,782,467
負債純資産合計	15,701,235	15,919,938

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	7,315,228	7,614,288
売上原価		
製品期首たな卸高	447,624	492,759
当期製品仕入高	900,990	902,399
当期製品製造原価	4,014,517	4,051,307
合計	5,363,131	5,446,466
製品他勘定振替高	578	443
製品期末たな卸高	492,759	531,375
売上原価合計	4,869,793	4,914,647
売上総利益	2,445,434	2,699,640
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	532,474	535,605
給料及び手当	584,869	565,890
貸倒引当金繰入額	△5,626	△2,501
賞与引当金繰入額	34,583	35,447
退職給付費用	18,770	14,539
役員退職慰労引当金繰入額	20,020	20,538
減価償却費	46,516	49,247
その他	871,902	910,905
販売費及び一般管理費合計	2,103,510	2,129,672
営業利益	341,924	569,967
営業外収益		
受取利息	1,313	1,220
有価証券利息	403	456
受取配当金	2,407	2,482
不動産賃貸料	18,944	18,638
受取保険金	6,343	—
雑収入	4,824	3,055
営業外収益合計	34,236	25,852
営業外費用		
支払利息	11,123	11,261
売上割引	53,033	54,281
雑損失	4,503	4,099
営業外費用合計	68,661	69,643
経常利益	307,499	526,176
税引前当期純利益	307,499	526,176
法人税、住民税及び事業税	115,474	174,345
法人税等調整額	△7,669	△2,057
法人税等合計	107,804	172,287
当期純利益	199,695	353,888

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,820,000	1,320,000	1,320,000	275,400	9,900,000	400,908	10,576,308
当期変動額							
剰余金の配当						△213,556	△213,556
当期純利益						199,695	199,695
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△13,861	△13,861
当期末残高	1,820,000	1,320,000	1,320,000	275,400	9,900,000	387,047	10,562,447

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△69,828	13,646,479	29,661	29,661	13,676,140
当期変動額					
剰余金の配当		△213,556			△213,556
当期純利益		199,695			199,695
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△11,323	△11,323	△11,323
当期変動額合計	—	△13,861	△11,323	△11,323	△25,184
当期末残高	△69,828	13,632,618	18,338	18,338	13,650,956

当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金		
				別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,820,000	1,320,000	1,320,000	275,400	9,900,000	387,047	10,562,447
当期変動額							
剰余金の配当						△213,556	△213,556
当期純利益						353,888	353,888
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	140,331	140,331
当期末残高	1,820,000	1,320,000	1,320,000	275,400	9,900,000	527,378	10,702,778

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	△69,828	13,632,618	18,338	18,338	13,650,956
当期変動額					
剰余金の配当		△213,556			△213,556
当期純利益		353,888			353,888
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△8,821	△8,821	△8,821
当期変動額合計	—	140,331	△8,821	△8,821	131,510
当期末残高	△69,828	13,772,950	9,516	9,516	13,782,467

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	307,499	526,176
減価償却費	272,950	320,017
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,626	△2,501
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,369	△3,704
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	20,020	△2,561
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△215	1,251
受取利息及び受取配当金	△4,125	△4,159
支払利息	11,123	11,261
売上債権の増減額 (△は増加)	45,744	△54,608
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,917	△87,600
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,870	485
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	7,481	7,737
仕入債務の増減額 (△は減少)	△23,745	53,288
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	41,063	△28,132
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	5,386	9,609
小計	680,880	746,561
利息及び配当金の受取額	4,040	4,212
利息の支払額	△10,749	△10,878
法人税等の支払額	△79,395	△119,919
営業活動によるキャッシュ・フロー	594,776	619,975
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,900,000	△7,600,000
定期預金の払戻による収入	8,400,000	7,900,000
有価証券の取得による支出	△1,300,000	△1,300,000
有価証券の償還による収入	700,000	1,300,000
投資有価証券の取得による支出	△460	△437
有形固定資産の取得による支出	△244,208	△446,039
無形固定資産の取得による支出	△7,498	△37,706
その他の支出	△3,729	—
その他の収入	1,240	252
投資活動によるキャッシュ・フロー	△354,654	△183,930
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△213,614	△213,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	△213,614	△213,452
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	26,507	222,592
現金及び現金同等物の期首残高	440,724	467,232
現金及び現金同等物の期末残高	467,232	689,824

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	9,588.30 円	9,680.67 円
1株当たり当期純利益金額	140.26 円	248.57 円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益(千円)	199,695	353,888
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	199,695	353,888
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,423	1,423

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	13,650,956	13,782,467
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	13,650,956	13,782,467
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	1,423	1,423

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

1. 業 績

科目	金額	前期比
売上高	76億14百万円	4.1%
営業利益	5億69百万円	66.7%
経常利益	5億26百万円	71.1%
当期純利益	3億53百万円	77.2%
1株当たり当期純利益	248円57銭	(前期140円26銭)

製品分類別売上高の状況

製品分類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
鋳鉄器材	1,947	25.6	2.0
スチール機材	1,244	16.3	△4.5
製作金物	3,958	52.0	12.1
その他	463	6.1	△18.9
合計	7,614	100.0	4.1

2. 配 当

当期の年間配当額は、1株当たり150円を実施する予定であります。(前年同期150円)

3. 財政状態

総資産は159億19百万円、純資産は137億82百万円、自己資本比率86.6%、1株当たり純資産額9,680円67銭であります。

4. 次期(2021年3月期)の業績予想

区分	第2四半期累計期間		通期	
	金額(百万円)	前期比(%)	金額(百万円)	前期比(%)
売上高	3,560	3.2	7,600	△0.2
営業利益	100	22.3	440	△22.8
経常利益	80	28.0	400	△24.0
当期純利益	45	24.1	265	△25.1

製品分類別売上高の計画(通期)

製品分類	売上高(百万円)	構成比(%)	前期比(%)
鋳鉄器材	1,960	25.8	0.6
スチール機材	1,240	16.3	△0.3
製作金物	3,920	51.6	△1.0
その他	480	6.3	3.5
合計	7,600	100.0	△0.2

5. 設備投資及び減価償却費(有形固定資産)

	当期実績	次期計画
設備投資額	4億46百万円 (自動溶接設備、鋳造関連設備等)	4億円 (機械加工設備、金型等)
減価償却費	3億12百万円	3億10百万円